



図-2 徳島すぎ生材の含水率分布 (9月世界) 地上高 赤心の心材 黒心の心材 辺材 m 12m168 61 0 107 0 57 120 172 8 175 71 1168 4m 245 216 含水率 (%) 50 100 **編料:徳島県林英総合技術センター「徳島すぎ葉枯らし乾燥」(1989)** RETURN

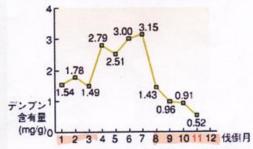
でんぷん量の季節による変化

一般に木材の辺材部では生理機能が高いため、デンプン含有量は 大きく変化し、供給・蓄積・消失を繰り返しています。

このデンプン量の変化が、穿孔性害虫の被害に影響を与えます。徳 島すぎ生材の辺材部における1年間のデンプン含有量の変化を見ま すと、図-3のとおりです。

最も材内に蓄積されるのは4~7月の期間であり、穿孔性害虫の発生加害期です。一方8~2月の期間では成長にでんぷんを消費したため、年間を通じて最も含有量が少なく、この期間がスギ伐倒の適期となっています。

図-3 徳島すぎ辺材部の伐倒月別デンプン含有量



キデンプン測定用試料は元玉材の末目部から厚さ5cmの円板を採取し、 その辺状部を用いた。

*デンプン定量法は過塩素酸抽出/ヨウ化カリ比色法によった。

資料:徳島県林榮総合技術センター「徳島 すぎ葉枯らし乾燥」(1989) 宇徳島県工業技術センター分析値



DER RICHTIGE ZEITPUNKT



Die Qualität von Banhati ist in erster Linie vom Zeitpunkt der Holzente ahhängig. Schierbar phinomenals bednisische Fartschritäte in den vergangenen Jahrachsten kelten ver allem viele "nachningstudige" Menischen glauben, die Qualität von Bauhotz sei seizundas, weil ahnehin durch die Verwerdung von chemischen Hillemittale jedes egätze auftretende Problem gesicht werden konte. Helzschutzmittel gegee Schierune, Flätz und insakten wurden zum Hel Bedeelnerins eingesettt, sugar is Innerstaumen verwendet, als bequenes und vermeintlich modernes Mittel: an Stelle alter Holzstaditionen, gesehen.

Auf der Verlierersidte findet sich neben der belastetes Natur vor allem die über Jahre hinweg den Angriffen der Chemie ausgesetzte Gesundheit der Hausbewohner.

Hachwortiges, nach jahrhunderte alten flegeln während den abnehmenden Mondphasen geensteles Holz ist. "Rebessfeundliches" Heiz und für den Einsatz als Bauholz bestons gerignet.

Auch Holz vom richtigen Zeitpenkt muss handwesklich einwandfrei verzheitet werden, braucht konstnikthen Helzechetz und englité in Summe mit allen anderen qualitätssichenden Maßnahmen das gewönschite Enabelue

Über die leichtere Holztrochnung und hohe Formstabilität freut sich der Zimmermann - die deutlich längere Lebenschuer und höchste Widerstandsfühigkeit gegenüber Plübefall sind die Rusporkte für die Geldbörse des Baulereren und die Gesundheit der Hausbewohner - die Grundage für das Gefühl der Geborgenheit im eigeren Haus!

MONDPHASEN VON SEPTEMBER 2005 BIS FEBRUAR 2006

Monat	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
September	DO	FR	SA	50	MO	DI	M	DO	FR	SA	SO	MO	DI	MI	DO	FR	SA	50	MO	DI	MI	DO	R	SA	50	MD	DI	MI	DO	FR	
Notizen																															
Oktober	58	50	MO	DI	MI	DO	FR	SA	SO	MO	DI	MI	DO	FR	SA	50	MO	DI	MI	00	FR	58	50	MO	DI	MI	00	FR	SA	50	MO
Notizen																														1	
November	DE	MI	DO	FR	SA	50	MO	Di	MI	DO	FR	SA	50	MO	DI	M	00	R	SA	50	MO	01	ARI	DO	-68	SA	50	MO	DI	MI	
Notizen																															
Dezember	00	FR	SA	so	MO	DI	M	DO	FR	SA	50	MO	DI	MI	DO	-		50	MO	DI	MI	00	IR	SA	50	MO	DI	MI	DO	-	SA
Notizen																															
Jänner	50	MO	Di	MI	DO	FR	SA	SO	MO	DI	MI	DO	FR	SA	50	MO	- 01	MI	90	FR	SA	50	MO	DI	MI	DO	IR.	SA	50	MD	DI
Notizen																															
Februar	MI	DO	FR	SA	50	MO	DI	MI	DO	FR	5A	50	MO.	DI	MI	00	Ht.	SA'	50"	WO.	DI	MI	00	FR	SA'	50	MO	DI.			
Notizen					DO.						-																				

Die abnehmende Mondphase ist farblich unterlegt - bitte nur in dieser Phase ernten!

^{*)} Februartermine nur mehr als "Notlösung" im Hochgebirge oder bei extrem strengem Winter



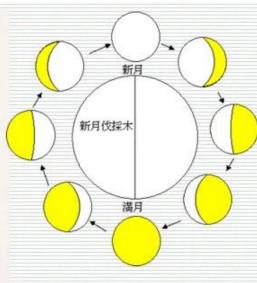






















出荷証明書

高倉康人 様

感謝。御買上頂きました素材は下記の履歴である事を証明致します。

1、 生産者(林業家)静岡県浜松市幸3丁目5-26 平野 弘

2、 生産地 (所在地) 静岡県浜松市龍山村

3、 樹種、樹齢 杉 90年生

4、 履歴番号 8080

5、 伐採日 平成17年12月17日(月齢15.5)

6、 伐採者 名古屋市西区名西1-20-49 高倉繕臣 紫央季

7、 出材日 平成18年06月27日

8、 出材者 静岡県浜松市天竜区横川2600-2 栗田和彦

9、 葉枯らし期間 192日

10、 製材 浜松市天竜区水窪町奥領家 3818-11 天竜TSドライシステム(協) 11、 設計 名古屋市西区名西1-20-49 クラ設計 高倉 康人 12、 施工 愛知県一宮市あずら2-2-12 ㈱河合工務店 河合昭知









平野 弘

伐採

高倉繕臣 紫央季

出材開始











栗田和彦

天竜TSドライシステム (協)

高倉康人

河合昭知

素材取扱責任者 静岡県浜松市横川3202-3 T. S. DRYグループ 正 榊原商店 榊原正三















パン黴実験(2014.9.11開始)



叉木·檜·新月伐採 叉木·檜·満月伐採

2014.11.18撮影





全国 10 県 11 地域における

月齢伐採、葉枯らし乾燥の木材特性への影響について

木暮人倶楽部研究部会, 京都大学

目的.

伐採時期(新月、上弦、満月、下弦などの月齢)と地域の違いが木材のデンプン含有量におよぼす影響について の調査を行い、適切な伐採時期と乾燥方法の指針とする。

方法_

秋季(10~11 月)における月齢 4 期(下弦、新月直前、上弦、満月直前)に、スギなど樹齢 20 年程度の試験 木を各地域で 3 本伐採しそれぞれサンプル片を採取した。

これらのサンプル片は冷凍保存した後、細胞固定処理(FAA 浸漬)を行い、辺材部(白太)における放射状柔細胞内のデンプンを光学顕微鏡により観察し、その占有率を 0~10 のスコアで記録した。

さらに伐採地において枝葉をつけたまま放置(葉枯らし乾燥)した試験木について、3ヶ月後、6ヶ月後にもサンプル片を採取して同様の観察を行った。

結果 -

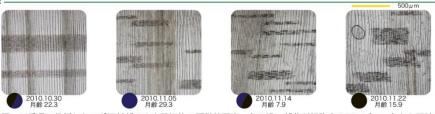
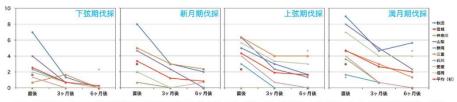


図. 三重県で伐採したスギ辺材部のまさ目切片の顕微鏡写真。色の濃い部分が細胞内のデンプン。左から下弦 期伐採、新月期伐採、上弦期伐採と満月期伐採。



図、各地域における伐採直後のスギ辺材部のデンブン量と葉枯らし乾燥による変化。左から下弦期伐採、新月期伐採、上弦期伐採と満月期伐採。

まとめ」

- ・葉枯らし乾燥により辺材中のデンプンは減少・消失した。葉枯らし乾燥が長期になるほど減少は顕著である。
- ・下弦に伐採され葉枯らし乾燥された木材では、デンプンの減少がスムーズで、6ヶ月間の葉枯らしではほとんどが消失した。
- ・新月に伐採され葉枯らし乾燥された木材では、デンプンが減少するものの、6ヶ月間の葉枯らしでもデンプン が残存するものもある。
- ・上弦、満月に伐採され葉枯らし乾燥された木材では、デンプンが減少するものの、6ヶ月間の葉枯らしでもかなり残存するものもある。
- ・個体数は少ないが、ヒノキ、ウリハダカエデにおいても同様の傾向が観察された。
- ・今後は信頼性を向上させるために試験本数の確保や期間を延長するなどして継続的に実験を行う予定である。

協力。

田口木材株式会社(秋田県)、株式会社むつみワールド(秋田県)、ひと・環境設計(宮城県)、有限会社小田原縁地(神奈川県)、有限会社アシスト(山梨県)、天竜T.S.ドライシステム協同組合(静岡県)、南木曽木材産業株式会社(長野県)、荒山林業(長野県)、河北の木で家を建てる会(石川県)、三重県中勢森林組合(三重県)、三浦林商(三重県)、株式会社みどりの素材研究所(三重県)、菅野建設株式会社(愛媛県)、NPO法人矢部川流域プロジェクト(福岡県)、株式会社ヒットコンテンツ研究所



右代銀

一大切六月良同城夏、春起 一个车生人作其十月中旬切枯而輕净須成 也是梅"用之 不能云切了其处是春冬十一切八年不生 也之一同不好亦云什一何一是也月到少几五 也一本竹切時節之支 竹八月智前去亦六月土用,中八月回夜

かれ中がおか知夏

飛発之榜,内有,音不聞、先移耳,都音也 何程是大工班是也 一大、見知丁要之五

番丘だ!

伊勢神宮の式年遷宮と加子母村

伊勢神宮では、平成5年10月に第61回の式年遷宮が行われました。

この時の造営に使用された木曽ヒノキの用材の一部も、この森林から供給しています。

1回の遷宮に必要なヒノキ材は約1万m3で、本数にして約1万3千本程度です。最大のものは樹齢450年以上を経た直径130cmの巨木が用いられます。



平成9年10月30日に行われた「斧入式」



式年遷宮とは、今から約1300年前の天武朝(西暦685年)に 制定されたといわれ、20年に一度新しい神殿をつくり神を移す 行事で、第1回目は持統天皇(西暦690年)の時代に行われ現 在まで続いています。

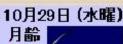
在まで続いています。 遷宮用材は、古くは「御杣山」と称された森林から調達され、伊 勢の神路山、高倉山などから伐出されていましたが、次第に適 した材が欠乏したため、各地に「御杣山」が定められるようにな り、1300年代になって美濃の国から供給されるようになりまし た。

この時代の美濃の国とは、木曽・裏木曽のことを指し、この地域から本格的に遷宮用材が伐出されたのは宝永6年(西暦1709年)といわれています。

次回の式年遷宮は第62回にあたり、平成25年に執り行われ、次回の遷宮御用材の最初の 伐採にあたり、平成9年10月28日長野県木曽郡上松町小川国有林において、また、30日に 加子母村内の加子母裏木曽国有林において、それぞれの伐採始めの「斧入式」が執り行われ ました。

平成9年

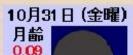




月齢 27.8 潮汐 中潮

月名(旧暦日) **有明月**





0.09 潮汐 大潮



月の満ち欠けとともに制作する

新月の闇夜に藍を仕込み、上弦の月を経て、ちょうど満月のころに藍のヨが咲く。

どうやらこのサイクルが藍にはふさわしいと思われた。

月のリズムを受け入れ、月が藍を育んでこそ、目の覚めるような縹色は、 の世にうまれ出る。

このような月と藍との関係は全く我流の考えなのだが、私は藍への心構; を、満月の夜に月から教えられたと思っている。

たまゆらの道 「祖母・豊の紺絣」よ

志村ふくみ fukumi shimura

滋賀県生まれ。染織作家、随筆家。

31歳のとき母の指導で植物染料と紬糸による織物を始める。

重要無形文化財保持者 (人間国宝)、文化功労者。



どんな方法で乾燥させるのでしょう?

最近の Cight 現場見学会

MENU

- » お客様の声
- » コンセプト
- » 商品紹介
- » 家が建つまで
- » 強い木って何だろう?
- » 想いはやがて
- » 遊木の会
- » 会社情報
- » アクセスマッブ
- * ブライバシーボリシー
- » サイトマップ

人工乾燥材と天然乾燥材の違いは?

人工乾燥材は、全体的に油分が少なくくすんだ色になっており、

表面にはひび割れは見えませんが内部にひび割れが出来ています。

乾燥の方法には人工乾燥と天然乾燥の二通りの方法があります。

一方、天然乾燥材は表面にひび割れがあっても内部には無く、油分があってつやつやとした鮮やかな色です。

その後、角材に加工して、屋根のある風通しの良い場所で半年から1年ほどかけてゆっくりと自然乾燥させます。

人工乾燥は木を伐採しすぐに角材に加工して乾燥室の中で一週間程高温蒸気乾燥を行います。 天然乾燥は伐採した木の芯の水を抜く為に葉をつけた状態で3ヶ月程天日にさらします。



(これを「葉枯らし」といいます)





人工乾燥材

天然乾燥材

人工乾燥 内部割れ

家づくりの為のポイント!

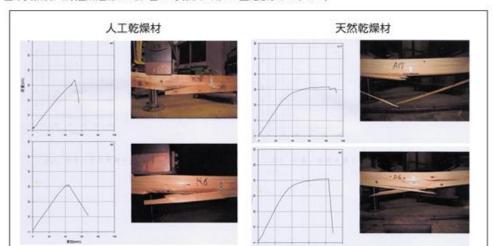
» 注文住宅の基礎知識

- » 現場見学会のご案内
- <u>» ショールーム</u>
- »健康住宅の家づくり
- » 地盤改良
- » 地盤調査
- » 太陽光発電
- » 家造リ 住宅ローン I 浜松
- * 木の家 | 浜松 | 木になる木の話
- ※ 省エネ エコキュート
- ※ 住宅エコポイント
- » リンク集

強度試験をしてみました。 ~ スギ製材 120mm×120mm×4,000mmの曲げ試験 ~

[試験体及び試験方法]

試験体はスギ製材の、天然乾燥材及び人工乾燥材である。試験体数は各タイプとも20体である。 試験体寸法は幅120mm×厚120mm×長4,000mmである。各試験体は寸法、重量を計測して密度を求め FFTアナライザーを用いて縦振動によるヤング係数を求めた。曲け試験は、実大材料強度試験機を用いて、 支持点間スパン2,160mm、加力点間スパン720mmの3等分点4点荷重方式で行った(図1)。 曲け試験後、破壊箇所近傍から取り出した試験片を用いて全乾法水率を求めた。



ブログカテゴリー

低温乾燥の試験体(強制腐朽試験終了後)

高温乾燥の試験体 (強制腐朽試験終了後)



(%) 60

50

40

30

円盤ごとの強制腐朽試験後の重量減少率

低温乾燥条件

| 高温乾燥条件



(棒は平均、バーは範囲



重量減少率を見ると、

ほ

木のいえを は学する ■京都大学生存圏研究所・小松幸平教授の研究から

オオウズラタケ菌に接種され、低温乾燥の木片はボロボロに壊れたが、低温乾燥の木片はもとが、低温乾燥の木片はもとが、低温乾燥の木片はもと 制腐朽試験の結果。乾燥条の小松幸平さんがスギ心材の小松幸平さんがスギ心材京都大学生存圏研究所教授京都大学生存圏研究所教授 件の違う木片を複数の結果。 ているところに天然乾燥材の特色がある。成分の働き。この成分を揮発させず、しっかり残した。注目されているのが、スギ心材に含まれる抽出 ら、そのよさを裏付ける証拠が明らかとなってき評するのによく使われる言葉だが、最近の研究か不の色艶がいい、香りがいい―。天然乾燥材を の違う木片を複数用意し、 頭)を投入し、強制的に約150年以上、強制的に約150項、兵蟻150項、兵蟻150項、兵蟻150項、兵蟻150項、兵蟻150項、兵蟻150項、兵蟻150項、兵蟻150項、兵蟻150項、兵蟻150項、兵蟻150項、兵蟻150項、兵蟻150項、兵蟻150項、兵蟻150項、兵蟻150項、兵蟻150項、兵蟻150項、 早く進んだということだ。 材のほうが大さい。低温乾材のほうが大さい。低温乾材との差は平均2倍。それだけ高温乾燥材の腐朽が

もう一つは高温乾燥材と で食われるかを調べるもの。 双方の木片をランダムに並 双方の木片をランダムに並 ででひいでであります。 害を与えた。それらの結果 もう一つは高温を見れた。

が左下の写真とグラフだ。 全体的にみて、強制食害 試験と選択食害試験のいず れも、高温乾燥材のほうが 大きい。つまり、高温乾 が大きい。つまり、高温乾 が大きい。かシロアリに多 く食わ れて る。

乾燥で材料特性に違い

材に含まれる抽出成分に高最近の研究から、スギ心

い防腐性・防蟻性があることがわかってきた。クリプトメリオンという成分が代いを格。強い殺蟻性があるとも報告されている。これをも報告されている。これをは温乾燥に利があることがは温乾燥に利があることがは温乾燥に利があることがはいい、

「高温をかけると、せっい方を検討すべき」と小松い方を検討すべき」と小松い方法による材料特性の違いにも着にしまう。今後は乾燥方法による材料特性の違いにも着いたものは、それぞれに適した使い方を検討すべき」と小松 さんは指摘する。

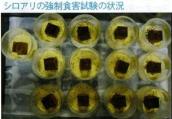
途に向く。色の悪い材でも、性なに向く。色の悪い材でも、性なが、天然乾燥または低い、大然乾燥または低いないが、大然乾燥または低いないが、大然乾燥を積極的に評価・たとえば土台。高い防・たとえば土台。高い防・

腐

採取した原盤番号 高温かけると木の抗菌 殺蟻成分が失われる

08/3/4/6/6/1/8/9/0/1/2/3/4/6/6/1/8/9/0/1

それぞれの木片から2㎝角の木片を8個ずつ切り出した。 0℃で4日間乾燥、もう一つを4℃湿度60%で2週間以上乾燥。 50㎜、7・5㎝角の木片を2つずつ切り出して一つを12スギ丸太を輪切りした円盤を20枚用意し、その心材部から厚1



シロアリの選択食害試験の状況

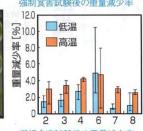


■低温 ■高温 重量減少率[%] 3.0 2.0 1.0

●シロアリによる食害試験の試験体

スギ丸太6本から5cm角、長さ1mの角材を切り出し、それらを12cmの長さに切 断して5cm角、長さ12cmの木片を作製。うち半分を120℃で4日間乾燥、半分を 20℃湿度40%で3週間以上乾燥した。乾燥終了後、割れや節が少ない木片をそ れぞれから選び、一辺2cmの立方体を採材して計192個の試験体をつくった。

強制食害試験後の重量減少率



選択食害試験後の重量減少率

2 3 4 6

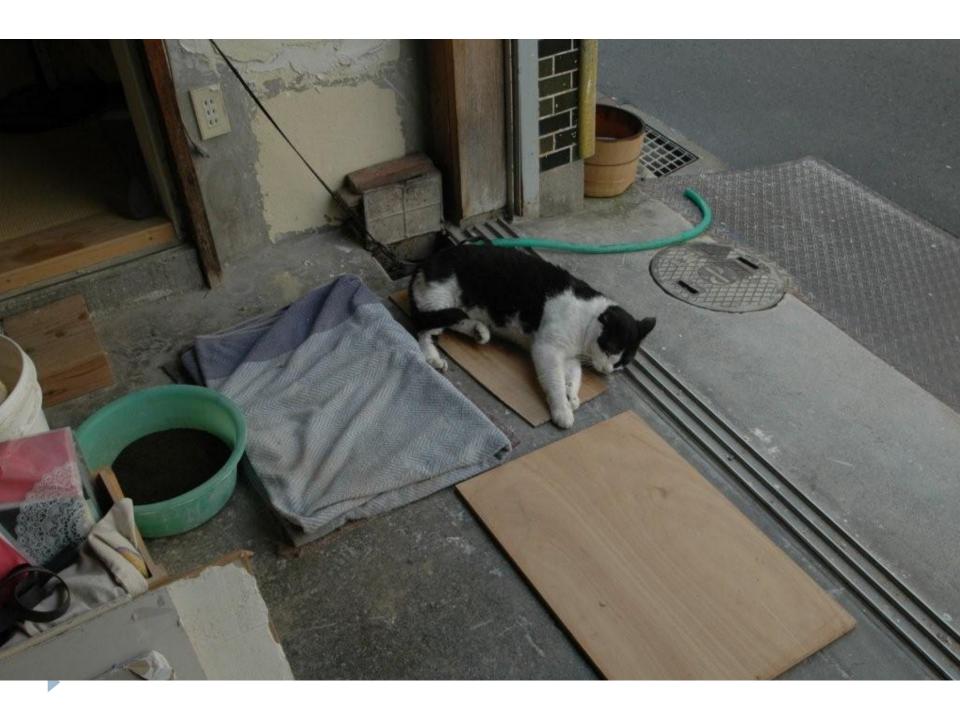
が、問題は乾燥にかかる時間。小松さんは「全国各時間。小松さんは「全国各情報をインターネットで集情報をインターネットで集けるシステムがいいと、中管理するシステムがいいと、中では」と提案。「どこにどいるがは」と提案。「どこにどいるが、問題は乾燥にかかる らいのストックが備蓄できくみを立ち上げ、2年分く 策が必要」と話す。 るまでを支援するようならいのストックが備蓄で

















食物繊維質健康食品

